

## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課  
担当課長名：荒川 辰雄

|   |   |   |   |                    |      |
|---|---|---|---|--------------------|------|
| <b>事業名</b>  | 連続立体交差事業<br>名古屋鉄道名古屋本線等（知立駅付近）                | <b>事業区分</b>   | 連続立体交差  | <b>事業主体</b>        | 愛知県  |
| <b>起終点</b>  | 自：愛知県刈谷市一ツ木町五丁目<br>愛知県知立市池端一丁目<br>愛知県知立市池端一丁目 | 至：愛知県知立市内幸町加藤<br>愛知県知立市牛田町裏新切<br>愛知県知立市東上重原四丁目                                | <b>延長</b>   | 5.0 km             |      |
| <b>事業概要</b>   |   |   |   |                    |      |
| 本事業は、名古屋鉄道名古屋本線・三河線の知立駅付近約5.0 kmにおいて、鉄道を高架化し10箇所の踏切を除却することにより、都市交通の円滑化及び踏切事故の解消を図るとともに、土地区画整理事業等周辺の市街地整備と併せ都市機能の強化を図り、知立市の中心市街地としてふさわしい魅力あるまちづくりを進める上で重要な事業である。 |   |   |   |                    |      |
| H12年度事業化  |   | H9年度都市計画決定  |   | H12年度用地着手          |      |
| H24年度工事着手   |   |   |   |                    |      |
| <b>全体事業費</b>  | 約664億円  | <b>事業進捗率</b>  | 約53%  | <b>供用済延長</b>       | — km |
| <b>計画交通量</b>  | 213,480台時/日（踏切遮断交通量）                          |   |   |                    |      |
| <b>費用対効果</b>  | <b>B/C</b><br>(事業全体) 1.1<br>(残事業) 3.4         | <b>総費用</b><br>(残事業)/(事業全体)<br>226/688億円<br>事業費：226/688億円<br>維持管理費：0.18/0.18億円 | <b>総便益</b><br>(残事業)/(事業全体)<br>767/767億円<br>移動時間短縮便益：725/725億円<br>走行経費減少便益：40/40億円<br>交通事故減少便益：2.2/2.2億円 | <b>基準年</b><br>令和3年 |      |
| <b>感度分析の結果</b>  |   |   |   |                    |      |
| (事業全体) 交通量：B/C=1.00~1.2（交通量±10%）<br>事業費：B/C=1.1~1.2（事業費±10%）<br>事業期間：B/C=1.01~1.2（事業期間±20%）   |   |   |   |                    |      |
| (残事業) 交通量：B/C=3.1~3.7（交通量±10%）<br>事業費：B/C=3.1~3.8（事業費±10%）<br>事業期間：B/C=3.1~3.7（事業期間±20%）  |   |   |   |                    |      |
| <b>事業の効果等</b>   |   |   |   |                    |      |
| ① 踏切遮断の解消<br>知立駅東側隣接踏切の遮断時間（約52分/60分）が解消される。  |   |   |   |                    |      |
| ② 踏切渋滞の解消<br>県道安城知立線（知立4号踏切）の渋滞（最大渋滞長約120m）が解消される。  |   |   |   |                    |      |
| ③ 魅力ある市街地の形成<br>土地区画整理事業等や街路事業と一体となってまちづくりを進めている。   |   |   |   |                    |      |
| ④ 歩行者・自転車の利便性・安全性の向上<br>開かずの踏切及び歩行者ボトルネック踏切の解消。   |   |   |   |                    |      |
| <b>関係する地方公共団体等の意見</b>   |   |   |   |                    |      |
| ・「西三河都市計画区域マスタープラン」（H31.3改定）、「知立市都市計画マスタープラン（2020年度～2031年度）」（R2.4改定）の主要事業に位置付けられている。  |   |   |   |                    |      |
| ・連続立体交差事業の計画的な事業促進が図られるよう要望する。<br>【愛知県鉄道立体交差事業促進協議会（R3.11.5）】<br>【愛知県知立市、知立市商工会（R4.1.28）】   |   |   |   |                    |      |
| <b>事業評価監視委員会の意見</b>   |   |   |   |                    |      |
| 事業継続を妥当と認める。（R4.1.18）   |   |   |   |                    |      |
| <b>事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等</b>   |   |   |   |                    |      |
| ・大きな変動要因はない。  |   |   |   |                    |      |
| <b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>  |   |   |   |                    |      |
| 用地取得率約96%（令和3年3月末時点）、事業進捗率約53%（令和3年3月末時点）   |   |   |   |                    |      |
| <b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>   |   |   |   |                    |      |
| ・平成29年度から着手している名古屋本線の高架本体工事を引き続き推進するとともに、三河線について  |   |   |   |                    |      |

も仮線工事の地元説明会を開催し、順次工事に着手する予定。

施設の構造や工法の変更等

・新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト削減に努める。

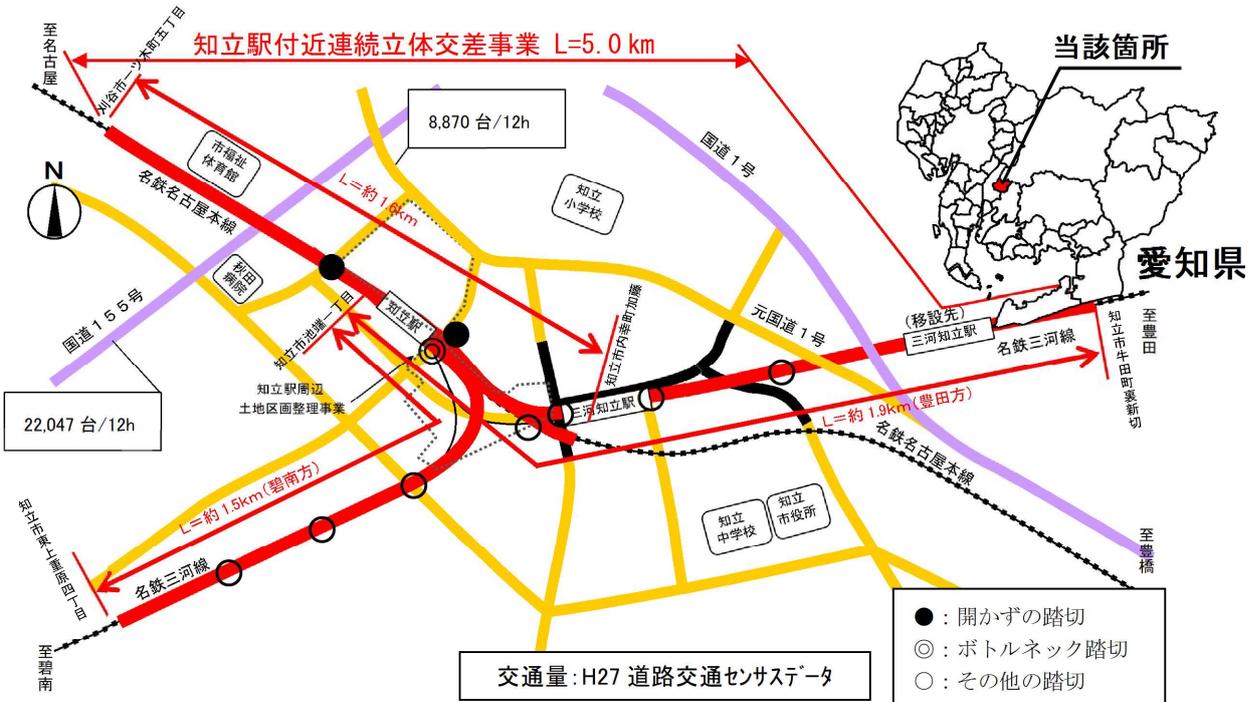
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

・鉄道を連続的に高架化して、踏切を除却することにより、道路交通の円滑化と分断された地域の一体化による良好な市街地形成に大きく寄与することが期待されるため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。